

皮膚科のトリビア

204

浅井 俊弥(浅井皮膚科クリニック)

<http://www.asai-hihuka.com/trivia.html>

トリビア(trivia)=3を意味するtriと+道を意味するviaで
もとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったこと
から「どこにでもある場所」、そこから転じて「瑣末なこと」
となり、今では雑学的知識、豆知識、などを意味する言葉
として定着している。

本欄は、小誌・浅井編集委員が学会・研究会などで見聞きした「皮膚科のトリビア」をその都度まとめ、連載
しています。ご意見等ございましたら、ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

●リウマチ膠原病オンラインセミナーから

令和3年6月15日

リウマチ性疾患とCOVID-19
ワクチンとの関連

各種内服および生物学的(バイオ)製剤等で治療
中のリウマチ性疾患(autoimmune inflammatory
rheumatic disease: AIIRD)患者に対して
COVID-19ワクチンを使用するとどうなるか。
686例を集計した論文の紹介。

2名がワクチン接種後に死亡。そのほかの大きな
副作用は、帯状疱疹が6例、ブドウ膜炎が2例、心
筋炎が1例。ワクチン接種後の疾患活動性は多くの
患者で変化なし。SARS-CoV-2 spike S1/S2
proteinに対する抗体産生は14%でみられず。ま
た、抗体価もコントロール群に比べると60%だっ
た。

一言コメント

「MTX, 抗CD20抗体, 副腎皮質ステロイド使用中の
患者で、抗体価が低かった。抗TNF抗体, 抗IL-17
抗体使用中の患者はコントロールとはほぼ同等だっ
たとのこと。とくに抗CD20抗体はワクチン接種の
半年前から休薬をする必要があるそうだ。」

●保土ヶ谷アレルギー疾患診療連携の会から

令和3年6月29日

重症喘息に対する生物学的製剤
選択のアルゴリズム

重症喘息患者に対する適切かつ利用可能な生物
学的製剤の選択のためには、IgE, 好酸球数, 呼気中
一酸化窒素濃度(FeNO)をマーカーとするのがよ
い。

IgE高値で好酸球高値であれば抗IL-5ないし抗
IgE. IgE高値で好酸球低値なら抗IgE. IgE低値の
場合はFeNOを測定し、それが高値で好酸球が高値
なら抗IL-5ないし抗IL-4,13. 好酸球低値なら抗IL-
4,13. FeNOが低値で好酸球が高値なら抗IL-5, 好
酸球低値の場合はバイオは用いない。

一言コメント

「FeNOの測定はNIOX VEROという機器で行う。
FeNOの上昇は、気道に好酸球性の炎症があることを
示し、炎症の程度により増減するため喘息の診断、コ
ントロール状態の判定に用いられている。成人健康
者での正常の上限値は37 ppbで、アレルギー性鼻炎が
あると高めになり、喫煙者は低めになる傾向がある。
これは知らなかった。皮膚科でも使えそうだ。」

●保土ケ谷区在宅医療相談室研修会から
令和3年6月30日

紫色蓄尿バッグ症候群？

尿道カテーテル留置を行っている在宅患者の蓄尿バッグとチューブが真紫色になった。尿自体の色調は正常。患者は慢性便秘があり、酸化マグネシウム内服中。紫色蓄尿バッグ症候群 (purple urin bag syndrome) と診断した。

機序は、便秘により腸内細菌が増殖、それがもつトリプトファナーゼにより、食事に含まれるトリプトファンが腸内でインドールに分解。腸から吸収されたインドールは肝臓で代謝されインドール硫酸になり、インドール硫酸が尿中に排泄される。尿路感染症がある場合、インドール硫酸がインディゴとインジルピンに分解される。インディゴは青色、インジルピンは赤色なので、混ざると紫色になる。これによって、尿バッグが紫色に染まる。

一言コメント

「初めて聞いた。きれいに機序を説明され、納得した。抗菌薬投与の必要はないが、便秘は治療するべきとのことであった。」

●第45回日本小児皮膚科学会学術大会から
令和3年7月3日

米国における小児帯状疱疹の疫学

2003～2014年にかけての統計が2019年に報告された。発生頻度は2007年までは横ばいだったが2008年からは減少傾向となり、12年間で72%低下した。水痘ワクチン接種者では年間10万人あたり38人、未接種者では170人と4.5倍の発症数であった。水痘ワクチン接種で78%減少する。生後11カ月で初回のワクチン接種を受けた幼児の発生頻度は、それ以降に初回接種を受けた幼児より高くなった。

一言コメント

「大規模な集計結果で、今後引用されることも多いだろう。最近フルペーパーが、ものによっては無料でダウンロードできるのでありがたい (<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7748320/>).

●第45回日本小児皮膚科学会学術大会から
令和3年7月3日

小児帯状疱疹の原因は野生株かワクチン株か

2005～2015年までの日本における水痘ワクチン接種後の副反応調査では、66例 (0.7人/10万人) が帯状疱疹様皮疹として報告されている。

ウイルス学的に分析された48例のうち、25例が野生分離株、10例が岡ワクチン株由来であった。ワクチン接種から岡ワクチン株が同定された帯状疱疹発症までの期間の中央値は167日であった。また半数以上が接種部位側に帯状疱疹を発症していた。

実験的には岡ワクチン株は野生株同様に潜伏感染するが、再活性化の頻度は低いことが証明されている。

一言コメント

「水痘帯状疱疹ウイルス (varicella zoster virus : VZV) のgene62の塩基配列を解析し、岡ワクチン株に特有とされる7カ所に塩基の置換がないかを確認することで両者の鑑別は可能。検体は水疱天蓋や痂皮でよいとのこと。今後、小児の帯状疱疹では解析が必要かもしれない。」

●第45回日本小児皮膚科学会学術大会から
令和3年7月3日

NF1に対する分子標的薬

神経線維腫症1型 (NF1) の原因遺伝子であるNF1の産物であるニューロフィブロミンは、RAS蛋白の機能を制御して細胞の増殖、分化、細胞死を抑制することにより腫瘍の発生と増殖を抑制する。NF1遺伝子に変異があると、RAS/RAF/MEK/ERKシグナル伝達が活性化され神経線維腫をはじめとした多種の腫瘍性病変を生じる。小児に多い視神経膠腫は手術が不可能で、放射線療法ももやもや病の発生頻度が高いため通常は行われず、多くの症例ではビンクリスチンとカルボプラチンを使用した化学療法が第1選択であった。近年、MEK酵素を阻害するセルメチニブの有効性が報告されている。

一言コメント

「これは臨床応用が近そうだ。米国では2020年から承認されているらしい。」